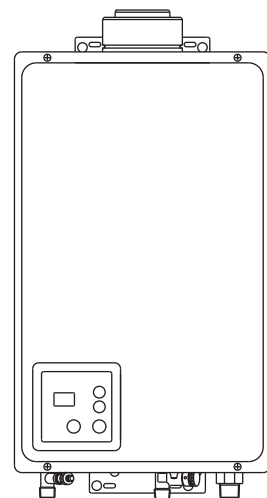
ガス給湯器

	操作部リモコン	対応する別売リモコン	
□ PH-16SXTU □ PH-20SXTU	MCS-101	給湯リモコン MC-101	シャワーリモコン SC-101
□ PH-16LXTU □ PH-20LXTU □ PH-16LXTB □ PH-20LXTB ＜BL認定部品＞ □ PH-16QLXTSUL □ PH-20QLXTSUL	MCS-115V	給湯リモコン MC-115V	ふろリモコン FC-115V

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。
詳しくはP3～4の「安全点検制度に関するお願い」をご覧ください。

取扱説明書 保証書付

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
- ●この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
また、この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
- ●この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- ●取扱説明書を紛失された場合はパロマまでお問い合わせください。

もくじ

はじめに

使いかた

器具名に「SX」がつく機器の場合

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

上手に使って長持ちさせるには

仕様/アフターサービス

機器のタイプを確認する

銘板で器具名を確認し、機器のタイプを確認してください

機器の正面に貼ってある銘板で確認します。

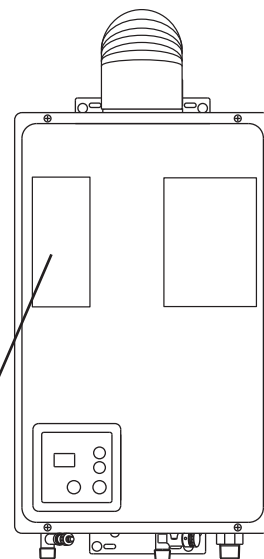
<器具名 例>

PH-16SXTU

2桁の数字の直後

SX　：湯はりコールが使用できます。
LX　：オートストップが使用できます。
QLX：オートストップが使用できます。

銘板（例）都市ガス用

器具名：PH-16SXTU（FF）
Q-3-2
都市ガス用・外壁用（FF-W）
12A　13A
39.7kW　42.5kW
定格電圧　AC 100V
定格周波数　50Hz/60Hz
定格消費電力　58W/58W
＊＊・＊＊-＊＊＊＊＊＊
パロマ

機器や対応するリモコンの種類によってそれぞれ使える機能が違います。次の表を参考に確認してください。

対象機器・リモコン ＼ 機能		お湯を出す（18・23ページ）	湯はりについて ＊1 設定湯量になるとおしらせする（湯はりコール）（21ページ）	湯はりについて ＊2 設定湯量になるとお湯を止める（オートストップ）（25ページ）	だれかを呼び出す（31ページ）	操作内容を音声でおしらせする
器具名に「SX」がつく機器	操作部リモコン **MCS-101**	○	○	ー	×	×
	別売リモコン **MC-101, SC-101**	○	○ この機能はMC-101でのみご利用可能です。	ー	×	×
器具名に「LX」「QLX」がつく機器	操作部リモコン **MCS-115V**	○	ー	○	× 呼び出すことはできませんが、別売リモコンからの呼び出し音は鳴ります。	○
	別売リモコン **MC-115V, FC-115V**	○	ー	○	○	○

＊1　湯はりコール … 給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにブザーでお知らせする機能です。
＊2　オートストップ…給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにお湯を自動で停止させる機能です。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

特定保守製品について

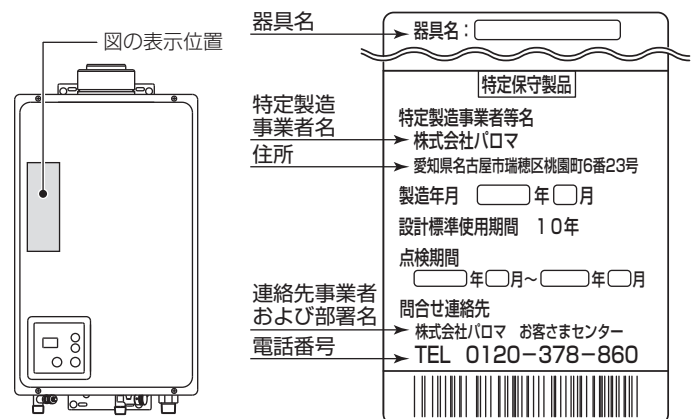
この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。

特定保守製品とは「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

法定点検（長期使用製品安全点検制度）について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者に責務として求められています（消安法第32条の14）。この機器に表示してある点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください。

なお、法定点検後も機器を使用する場合は、こまめに（1～2年）点検を受けることがこの機器を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

●この機器の点検期間は右図のように表示されています。
●この機器の設計標準使用期間10年の前後1年間が法定点検時期となります。点検期間には忘れずに法定点検（有償）をご依頼ください。（法定点検時期には、下記要領でお客さまにご登録いただいた所有者情報に基づき、当社より、はがきなどで法定点検の通知を送付いたします。）

※図は表示の一例です。

所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この機器の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法32条の8第1項および第2項）。
<u>下記「所有者登録の方法」をご覧になり、いずれかの方法で、登録を行ってください。</u>
<u>また、引っ越しなどで所有者登録の内容に変更がありましたら、速やかに登録内容の変更を行ってください。</u>
<u>変更登録を行わないと法定点検の通知が届きません。</u>

＊ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検、リコールなどの製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 …以下のいずれかの方法で登録を行ってください。
※聞き間違いなどによる誤登録を防ぐため、電話での所有者登録は行っておりません。

■所有者票（返信はがき）で登録する

添付の所有者票に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

■インターネットで登録する

下記アドレスにアクセスし、画面の案内に従って登録を行ってください。

http://www.paloma.co.jp/touroku/

■モバイル（携帯電話）で登録する

添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。
＊ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票（返信はがき）またはインターネットで登録を行ってください。

法定点検の通知について

●法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします（消安法第32条の12）。
●法定点検に関するお問い合わせは、「法定点検の連絡先について」をご覧ください。

本製品の設計標準使用期間について

この機器は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障・火災に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の【設計標準使用期間の算定の根拠について】参照）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。
無償保証期間とは異なるものですので、ご注意ください。

設計標準使用期間の算定の根拠について

この機器の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従って以下の標準使用条件で耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

【標準使用条件】

家族構成	4人世帯	給水温度	15℃
用途	洗面・台所・湯はり・シャワー	出湯温度	40℃
季節	中間期（春・秋）	1日使用量	456L
気温/湿度	20℃／65%	1日使用時間	1時間
電源電圧/周波数	100V（50Hz/60Hz）	1年使用日数	365日

●この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、機器に表示している点検期間よりも早く点検を受けてください。点検のご依頼は、下記の『株式会社パロマ お客さまセンター』へお願いします。
●この機器は一般家庭用です。業務用など、多頻度・長時間のご使用は、設計標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますので、このようなご使用はおやめください。

法定点検の連絡先について

法定点検に関するお問い合わせは、下記の連絡先へお願いします。

■株式会社パロマ　お客さまセンター

電話番号：0120-378-860
受付時間／平日9：00～17：00（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

●点検費用はお客さまにご負担いただくこととなります。点検料金については上記の電話番号へご確認ください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途費用が発生します。
●法定点検は全国の営業所で対応いたします。
パロマホームページ【http://www.paloma.co.jp】のアドレスからもご確認いただけます。

部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は下記になります。

	保有期間	部品名
整備部品	11年	点検の結果、必要となると見込まれる部品です。 （イグナイタ電極、フレームロッド電極、熱電対総組立、過熱防止器組立、入水・出湯サーミスタ、パッキン、Oリング、）
補修用性能部品	BL認定部品：10年 BL認定部品以外：7年	機器の機能を維持するために必要となる部品です。

日常の点検・お手入れについて

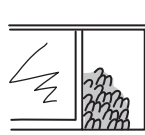
この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
日常の点検・お手入れのしかたについては、点検とお手入れのページを参照してください。
異常と思われる症状が見られる場合は、速やかに『株式会社パロマ お客さまセンター』までご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

禁止 火気禁止 分解禁止 濡れ手禁止	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
発火注意 高温注意	この絵表示は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
必ず行う プラグを抜く アースする	この絵表示は必ず行っていただきたい「強制」の内容です。

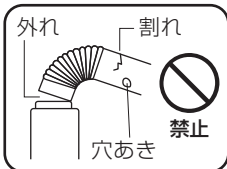
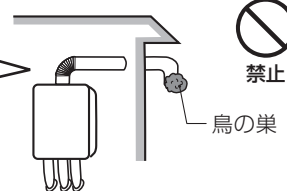
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

必ず行う

ガス漏れに気づいたときは…

■すぐに使用を中止する

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
　また、メーターのガス栓も閉める。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店かお近くのガス
　事業者（供給業者）に連絡する。

火気禁止

■ガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない
■電気器具（換気扇その他）のスイッチの入/切をしない
■電源プラグの抜き差しをしない
■周辺で電話を使用しない

火気禁止

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

禁止

給排気筒（給排気筒トップ）が外れたり鳥の巣などでつまったり、ふさがっていないか点検する

→排気が屋内に漏れて一酸化炭素中毒の
　原因となり危険です。

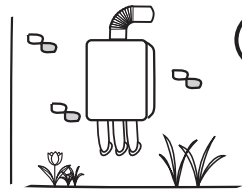
⚠警告

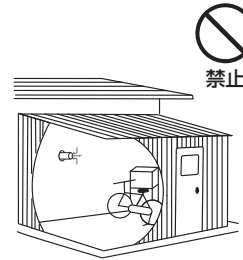
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

禁止

■この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認する

→雨水の浸入により故障の原因になります。

■設置後、機器や給排気口（給排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁止

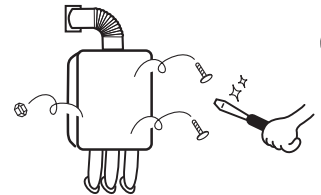
■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで給排気口（給排気筒トップ）を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁止

禁止

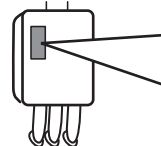
■絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

必ず行う

必ず行う

■供給ガスと機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源(電圧・周波数)の適合を確認する

→供給ガスと表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。

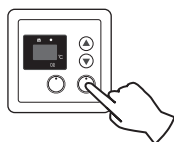
＊供給ガスがわからない場合、または銘板に表示してあるガス種と一致しない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者(供給業者)に連絡してください。

■電源はＡＣ100Ｖを使用する

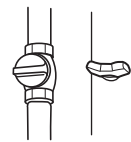
必ず行う

■異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める。
②「故障かな?と思ったら」34～37ページに従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かパロマに連絡する。
＊地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止しガス栓および給水元栓を閉める。

給湯栓を全て閉める

給湯（運転）スイッチを切る

電源プラグを抜く

ガス栓・給水元栓を閉める

＊再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かパロマまで点検依頼してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、
または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■機器および給排気口（給排気筒トップ）の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。

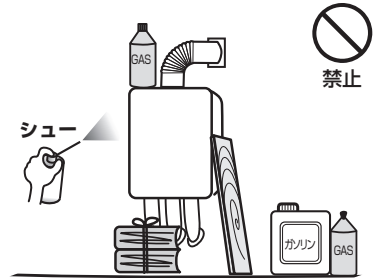
■機器および給排気口（給排気筒トップ）の周囲にはスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が
爆発するおそれがあります。

■機器および給排気口（給排気筒トップ）の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災のおそれがあります。

**■機器本体に無理な力を加えない。
機器本体やガスの接続口などに乗らない**

→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。

必ず行う

■機器の設置（付帯工事）

→機器の設置・移動および付帯
工事はお買い上げの販売店に
依頼し、安全な位置に正しく
設置してご使用ください。

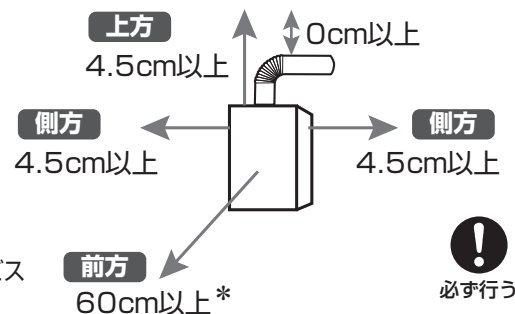
■ガス接続

→この機器のガス接続工事は
専門の資格・技術が必要です。
お買い上げの販売店に依頼し
てください。

必ず行う

■離隔距離を確保する

→機器周辺の物とは常に下図の離隔距離を
確保してください。

＊印はアフターサービス
上の寸法です。

禁止

■この機器を太陽熱温水器（ソーラーシステム）に接続しない

→熱いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

■浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

お子さまには…

■お子さまだけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない

■浴槽で水に潜ったりしない

■浴室、または機器の周囲や直下で遊ばせない

→思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、
または火災の可能性が想定される内容を示しています。

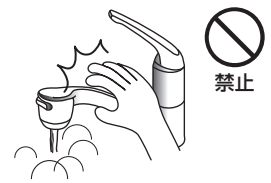
やけど防止のため

■使用中や使用直後は、機器および給排気筒（給排気筒トップを含む）とその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。

■出始めのお湯は体にかけない

→下記の場合、一瞬熱いお湯が出ることがあります。
- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき
- ・万一機器が故障したとき

また、給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意してください。

■シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

■手のひらで湯温を十分に確認する

●シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。
手のひらで湯温が安定したことを確かめてからご使用ください。

●入浴時には必ず手で浴槽の湯温を確認してから入浴してください。

●おいだき中やおいだき後は十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。

■湯量を少なくするときはゆっくり、絞りすぎないようにする

→急に湯量を少なくしたり、絞りすぎると熱いお湯が出ることがあります。
また、消火することもあります。

■熱いお湯を使用後は湯温をやけどしない程度の温度に戻す。熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまではぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

■湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。
やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、手のひらで湯温を確認してからお使いください。

■お湯を出したまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

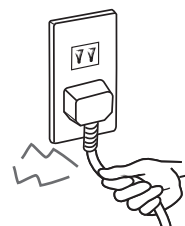
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■電源プラグの差し込みが不完全な状態で使用しない
■傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

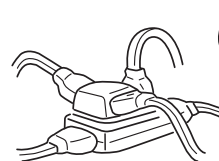
→感電や火災の原因になります。

■電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

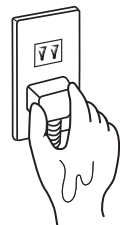
→電源コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。

■電源コードの取り扱い注意

●電源コード・電源プラグは…
・傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。

●電源コードは…
・束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
・物をのせたり、衝撃を与えたり、無理な力を加えないでください。
・切断して延長しないでください。電源コードがコンセントに届く範囲にしてください。

→感電、漏電、またはショートや発火による火災のおそれがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

→発熱による火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを触らない

→感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

必ず行う

■電源プラグはほこりを定期的にふき取る

→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。

アースする

■アースがされていることを確認する

→この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合、機器の故障や漏電による感電のおそれがあります。ご不明な場合はお買い上げの販売店にご確認ください。

注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

■給湯・シャワー以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因となることがあります。

■給排気口（給排気筒トップ）に指や棒などを入れない

→けがや故障の原因となります。

おねがい

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
＊この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
＊リモコンの燃焼確認ランプで確認してください。（18，23ページ参照）

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にしてください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■温泉水や井戸水・地下水を使わない

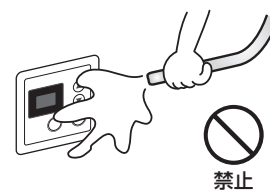
水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。上水道を使用してください。
＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用は保証期間内でも有料になります。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水や、朝一番のお湯は飲用や調理には用いないで雑用水としてお使いください。飲用される場合は下記の点に注意してください。

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず、ただちにお買い上げの販売店またはパロマまで点検を依頼してください。

■リモコンの注意

・リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
・シャワー（ふろ）リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも当たらないように注意してください。
また、給湯リモコンの周りの壁にかけてたれた洗剤や水はリモコンにかからないようにふき取ってください。故障の原因になります。
・リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。

■リモコンの設置場所について

・サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）

■リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

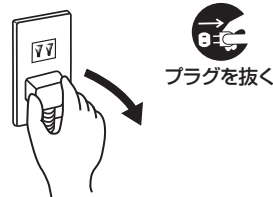
■電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますので、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

おねがい

■雷発生時の注意

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだ後は、電源プラグをコンセントに差込んでください。

■停電のときは

・停電すると使用できません。
・使用中に停電すると運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。
停電時に給湯栓を開けたままにしておくと、お湯が水に変わり、水が流れたままになります。
・冬期など気温の低いときに停電した場合は「機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。（39ページ）

再通電後のリモコン表示

●温度表示は前回使用時の設定が表示されます。
●湯量表示は下記のように表示されます。

- 操作部 MCS-101・給湯リモコン MC-101の場合
→「180ℓ」が表示されます。
- シャワーリモコン SC-101の場合
→湯量表示はありません。
- 操作部 MCS-115V・給湯リモコン MC-115V・ふろリモコン FC-115Vリモコンの場合
→前回使用時の設定が表示されます。

■断水のときは

・断水すると使用できません。
・使用中に断水すると運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。
断水時に給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときにお湯や水が流れたままになります。（通水後はあらためて操作してください。）
・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用に用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。蛇口から十分水を流してから使用してください。

＊断水後は配管内に空気が入っているため、すぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

■水をお使いのときは

リモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用したりシャワーを浴びたりすることは、故障の原因になりますのでおやめください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
水をお使いのときは必ず給水栓側（シングルレバー式混合水栓の場合は完全にレバーを水側にしてから）を開いてください。

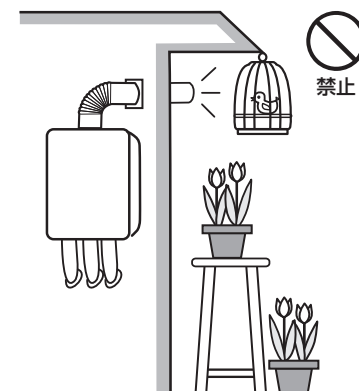
■給排気口（給排気筒トップ）の周囲でスプレーや特殊薬品は使用しない

・給排気口（給排気筒トップ）の周囲でシリコーンを含むスプレー（ヘアスプレー・静電気防止スプレーなど）を使用しないでください。電気部品の故障の原因になります。
・給排気口（給排気筒トップ）の周囲で特殊薬品を使用したり、保管したりしないでください。気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

おねがい

■給排気口の周囲

給排気口からの排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を給排気口・給排気筒トップの周囲に置かないでください。
増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

禁止

■積雪時は給排気口（給排気筒トップ）の点検、除雪を行う

積雪や、屋根から落ちた雪により給排気口（給排気筒トップ）がふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

■増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。
また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店またはパロマまでご連絡ください。）

■特監法対象機器

この機器の設置および変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後、機器本体に法定ステッカー（表示ラベル）を貼り付けることになっておりますので、確認してください。

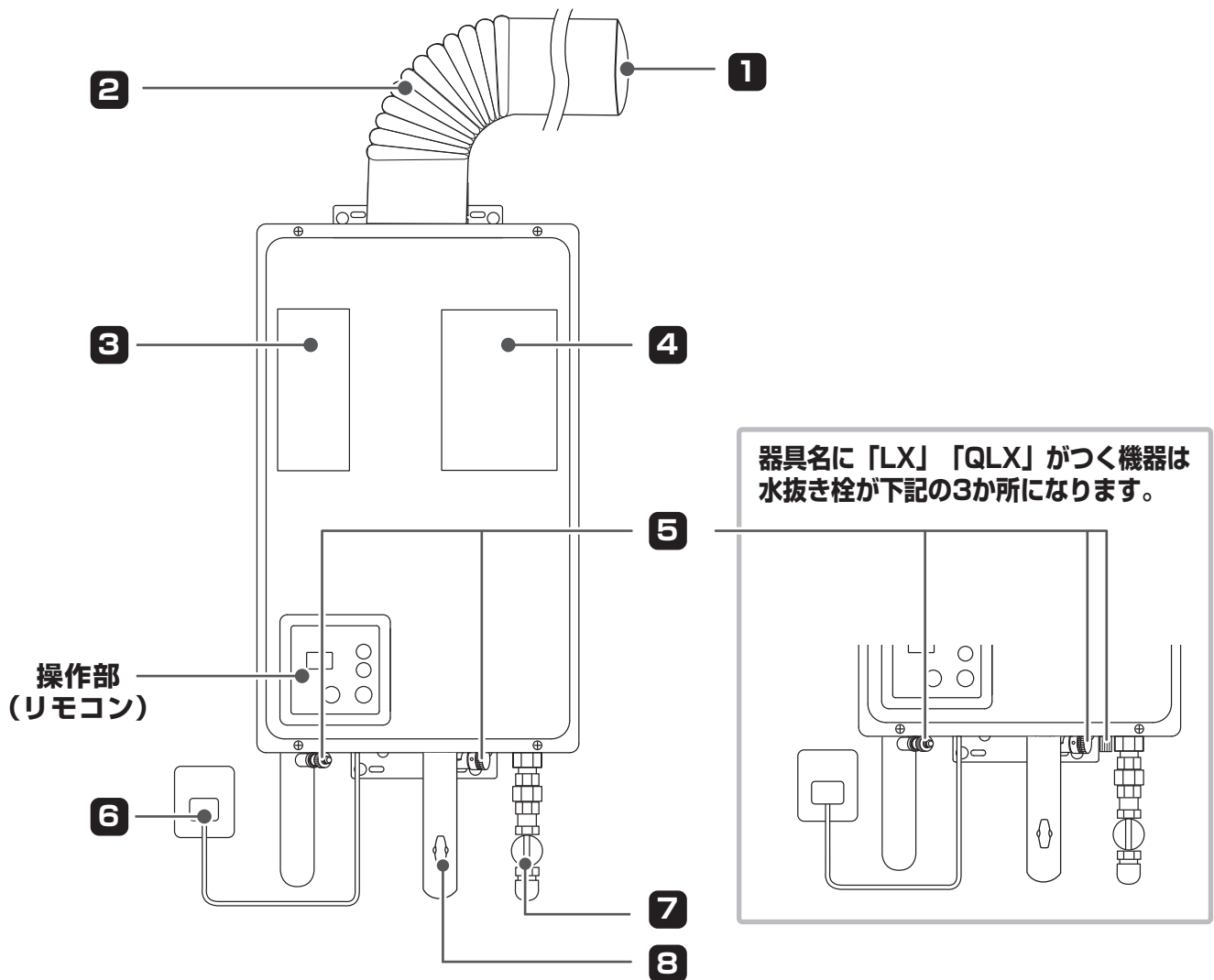
■設置状態の確認

下記の項目に当てはまる場所に設置されているか確認してください。

●機器は屋内に設置してある。
●機器は堅固に設置してある。
●給排気筒は屋外まで延長してある。
●給排気が十分行える場所に設置してある。
●機器の給排気口（給排気筒トップ）の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
　→隣家の迷惑にならない場所に設置してある。
●油煙の多い場所に設置していない。
●機器への配管にはガス栓、給水元栓が取り付けてある。
●換気扇などからの風が機器の給気に影響を与えない場所に設置してある。
●機器の周囲に可燃物がない。
　→洗濯物などの燃えやすいものがない。
　→棚の下など落下物がない。
　→給排気筒トップからの燃焼排ガスにより加熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）がない
●凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻くなどの措置がしてある。
　また、水抜き栓は保温材から出ており水抜き操作ができるようになっている。
●機器の給排気口（給排気筒トップ）を波板などで囲んでいない。

＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施工業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

各部のなまえとはたらき

1 給排気口（給排気筒トップ）

燃焼用の空気を取り入れ、燃焼排ガスを屋外に出します。

2 給排気筒

3 銘板・器具名

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・特定製造事業者等名・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

4 本体表示

使用上の注意について表示しています。

5 水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときに外します。
（39ページ参照）

6 電源プラグ

7 ガス栓

ガスの開閉を行います。

8 給水元栓

水道水の開閉を行います。

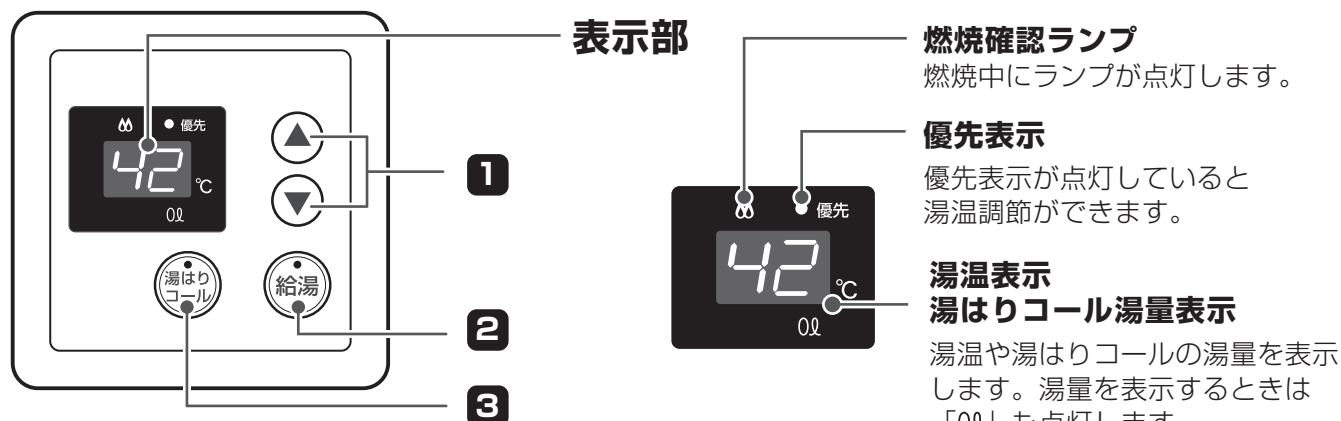
操作部リモコンのなまえとはたらき

●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。
●操作確認音は、消したり、鳴らしたりすることができます。20・31ページを参照ください。

MCS-101【器具名に「SX」がつく機器の操作部リモコン】

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

優先表示
優先表示が点灯していると
湯温調節ができます。

湯温表示
湯はりコール湯量表示
湯温や湯はりコールの湯量を表示します。湯量を表示するときは「0ℓ」も点灯します。
また、不具合が発生した場合は、エラーコードが表示されます。

1 湯温/湯はりコール湯量調節スイッチ

湯温や湯はりコールの湯量の調節をします。

2 給湯スイッチ・給湯ランプ

給湯操作をするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

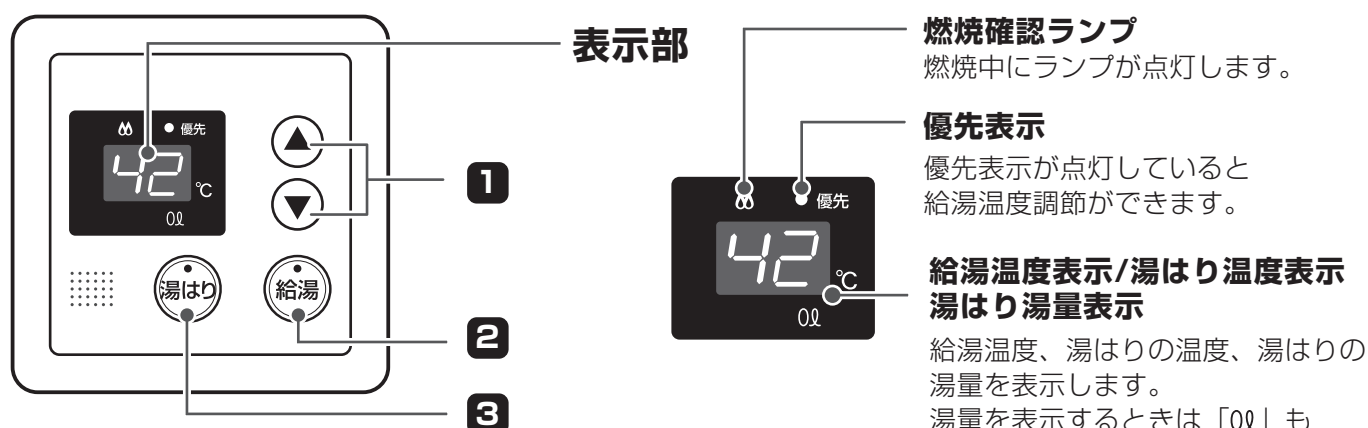
3 湯はりコールスイッチ・湯はりコールランプ

湯はりコールをセットするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると湯はりコールランプが点灯します。設定後は湯はりコールランプが点滅します。

MCS-115V【器具名に「LX」「QLX」がつく機器の操作部リモコン】

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

優先表示
優先表示が点灯していると
給湯温度調節ができます。

給湯温度表示/湯はり温度表示
湯はり湯量表示
給湯温度、湯はりの温度、湯はりの湯量を表示します。
湯量を表示するときは「0ℓ」も点灯します。
また、不具合が発生した場合は、エラーコードが表示されます。

1 湯温/湯量調節スイッチ

湯温や湯量の調節をします。

2 給湯スイッチ・給湯ランプ

給湯操作をするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

3 湯はりスイッチ・湯はりランプ

浴槽にお湯はりをするときに押して「入」にします。
スイッチを「入」にすると湯はりランプが点滅し、音声でお知らせします。

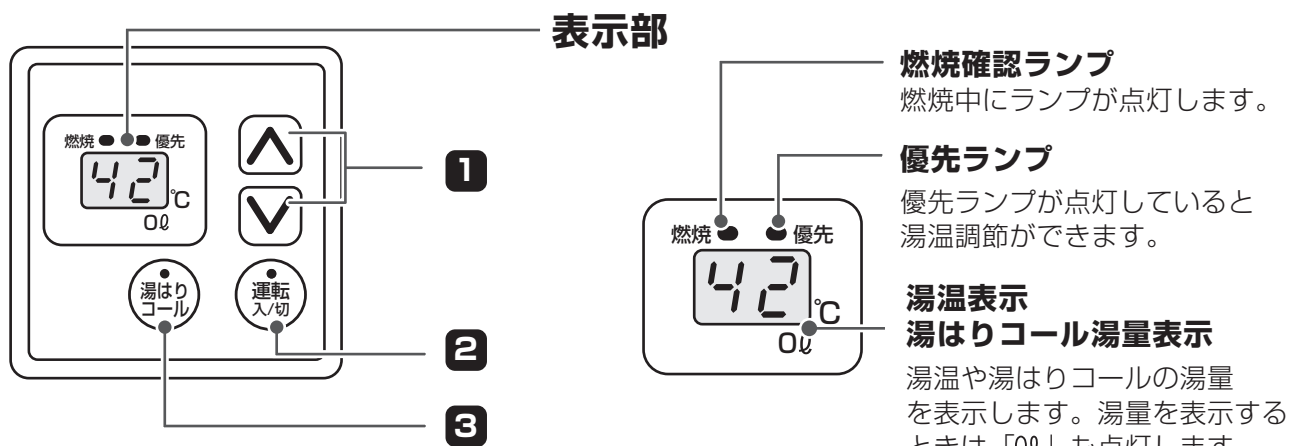
別売リモコンのなまえとはたらき

●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。
●操作確認音は、消したり、鳴らしたりすることができます。20・31ページを参照ください。

器具名に「SX」がつく機器用の別売リモコン
給湯リモコン【MC-101】

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

優先ランプ
優先ランプが点灯していると
湯温調節ができます。

湯温表示
湯はりコール湯量表示
湯温や湯はりコールの湯量
を表示します。湯量を表示する
ときは「0ℓ」も点灯します。
また、不具合が発生した場合は、
エラーコードが表示されます。

1 湯温/湯はりコール湯量調節スイッチ

湯温や湯はりコールの湯量の調節をします。

2 運転スイッチ・運転ランプ

給湯操作をするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。

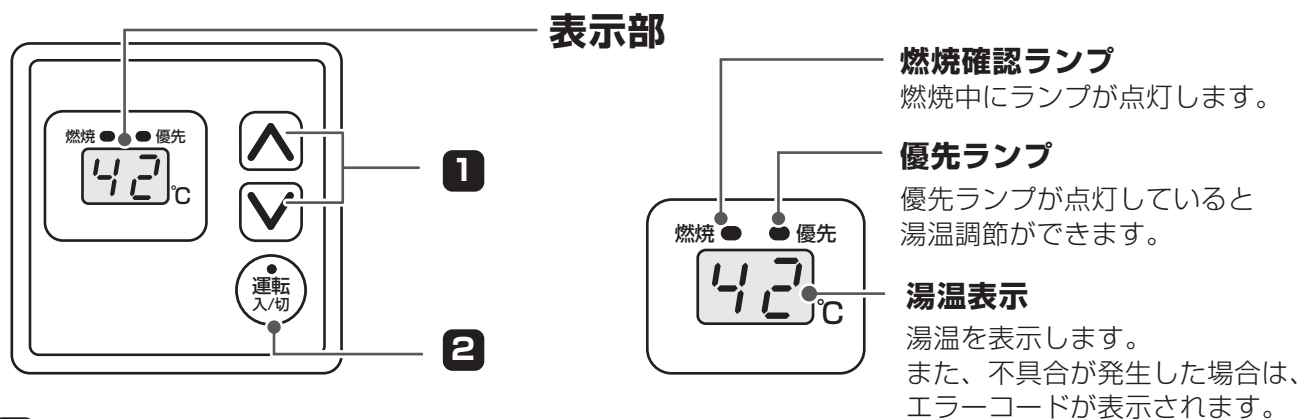
3 湯はりコールスイッチ・湯はりコールランプ

湯はりコールをセットするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると、湯はりコールランプが点灯します。設定後は湯はりコールランプが点滅します。

器具名に「SX」がつく機器用の別売リモコン
シャワーリモコン【SC-101】

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

優先ランプ
優先ランプが点灯していると
湯温調節ができます。

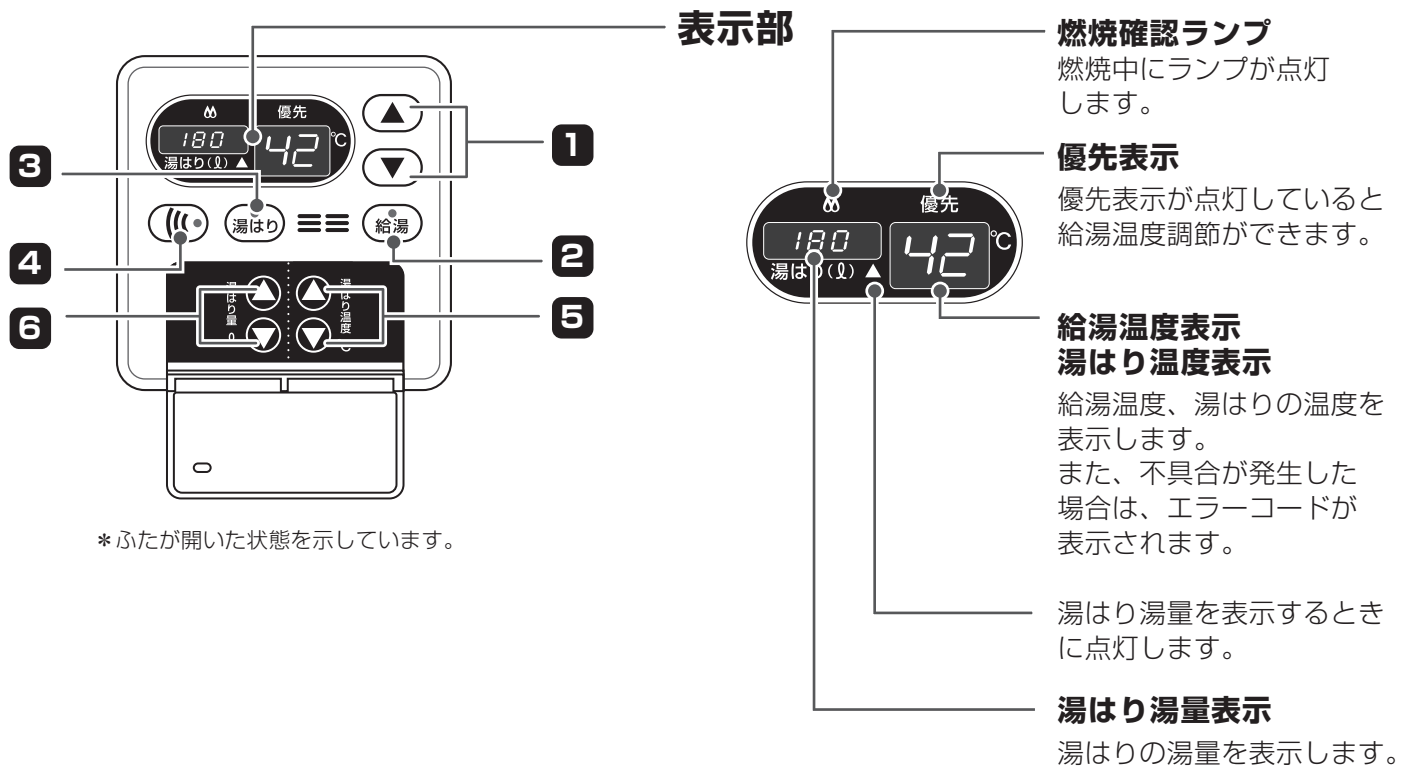
湯温表示
湯温を表示します。
また、不具合が発生した場合は、
エラーコードが表示されます。

1 湯温調節スイッチ

湯温の調節をします。

2 運転スイッチ・運転ランプ

給湯操作をするときに押して「入」にします。スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。

器具名に「LX」「QLX」がつく機器用の別売リモコン
給湯リモコン【MC-115V】
ふろリモコン【FC-115V】

＊ふたが開いた状態を示しています。

1 給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節をします。

2 給湯スイッチ・給湯ランプ

給湯操作をするときに押して｢入｣にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

3 湯はりスイッチ・湯はりランプ

浴槽にお湯はりをするときに押して「入」にします。
スイッチを「入」にすると湯はりランプが点灯し、音声でお知らせします。

4 呼び出しスイッチ・呼び出しランプ

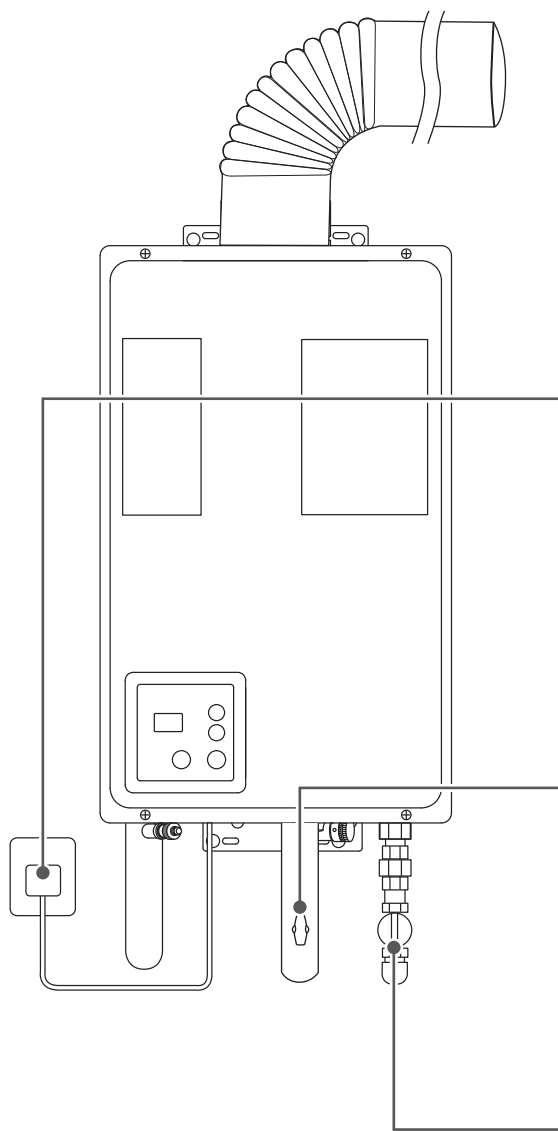
スイッチを押すと、ブザーが鳴って相手を呼び出します。

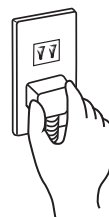
5 湯はり温度調節スイッチ

湯はりの温度を調節します。

6 湯はり量調節スイッチ

湯はりの湯量を調節します。

準備と確認

電源プラグをコンセントに差し込んでください

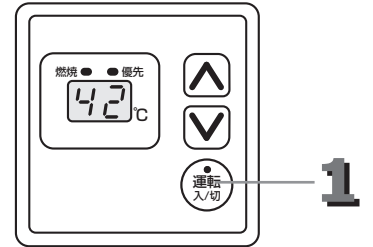
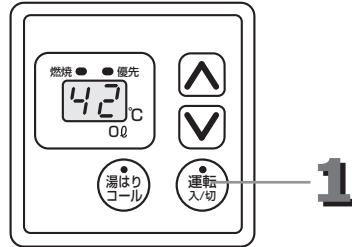
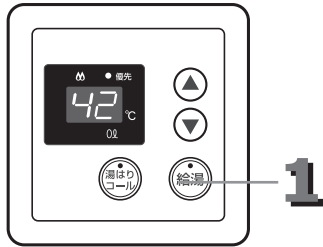
＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

給水元栓を全開にしてください

必ず全開で使用してください。

ガス栓を全開にしてください

必ず全開で使用してください。

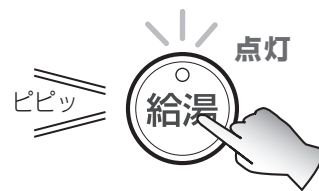
お湯の出しかた　器具名に「SX」がつく機器の場合

操作部リモコン【MCS-101】

別売：給湯リモコン【MC-101】

別売：シャワーリモコン【SC-101】

◎操作部リモコン（MCS-101）でご説明します。
給湯リモコン（MC-101）・シャワーリモコン（SC-101）では給湯スイッチが運転スイッチ、給湯ランプが運転ランプになります。

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

給湯スイッチの「入」「切」は、操作部リモコンと給湯リモコンでは連動します。シャワーリモコンは連動しません。（表示部のみ連動して点灯します。）

2 給湯栓を開ける

燃焼確認ランプ点灯

3 給湯栓を閉める

燃焼確認ランプ消灯

警告

必ず行う

おふろでお湯を使うときは、必ずシャワーリモコンの運転スイッチを押して優先にする

→優先にしないと操作部リモコンや給湯リモコンで温度を変更できるため、やけどのおそれがあります。

※シャワーリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

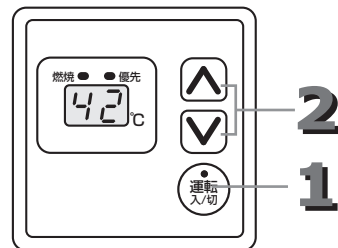
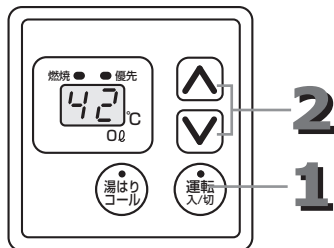
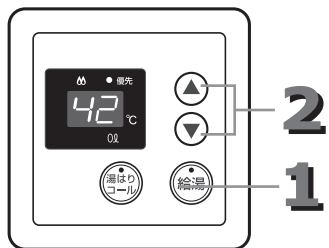
おねがい

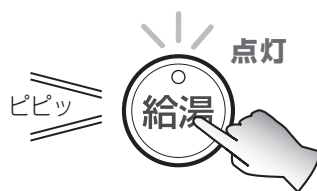
リモコンのスイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

知っておいてね

- ●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。（給湯栓の開閉操作を2〜3回くり返してください。）
- ●給湯栓を絞りすぎると消火します。（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
- ●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- ●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。
- ●夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。
- ●給湯（運転）スイッチを「切」にしても表示部が消えない場合は、他に給湯（運転）スイッチ「入」のリモコンがあります。すべてのリモコンを「切」にするときは、いずれかのリモコンの給湯（運転）スイッチを3秒以上押し続けてください。

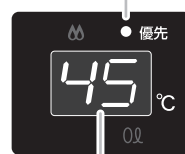
温度調節をするには　器具名に「SX」がつく機器の場合

操作部リモコン【MCS-101】　**別売：給湯リモコン【MC-101】**　**別売：シャワーリモコン【SC-101】**

◎操作部リモコン（MCS-101）でご説明します。
給湯リモコン（MC-101）・シャワーリモコン（SC-101）では給湯スイッチが運転スイッチ、給湯ランプが運転ランプになります。

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

前回の設定温度

2 湯温調節スイッチを押して温度を調節する

- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
- 60℃以上に設定した場合、注意を促すため熱いお湯が出ることを音でお知らせします。
- 設定を記憶します。

優先ランプ確認

調節後の温度

 重要

優先ランプが点灯しているリモコンでしか湯温は調節できません。

⚠警告

必ず行う

おふろでお湯を使うときは、必ずシャワーリモコンの運転スイッチを押して優先にする

→優先にしないと操作部リモコンや給湯リモコンで温度を変更できるため、やけどのおそれがあります。
※シャワーリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

＜湯温の目安＞

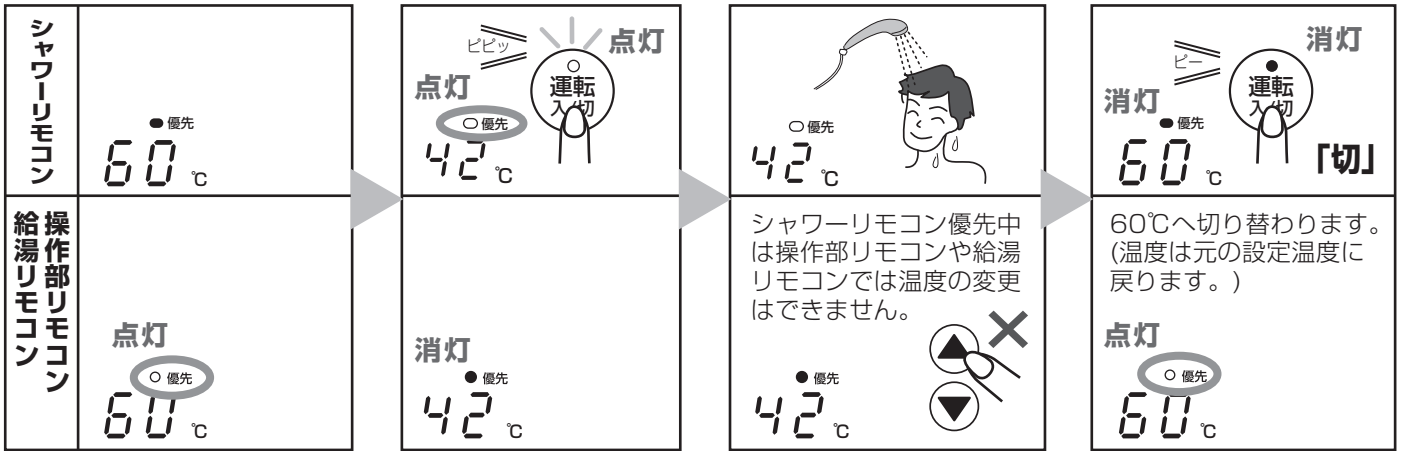
表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管の長さなど）により必ずしも一致しません。
表示の温度は目安としてください。

42℃（初期設定）に設定すると音でお知らせ　＼ピピッ／

60℃に設定すると音でお知らせ　＼ピピピッ／

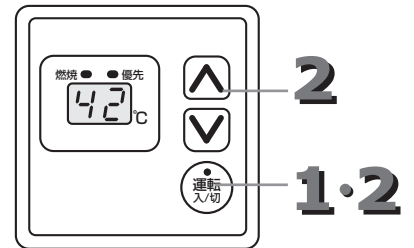
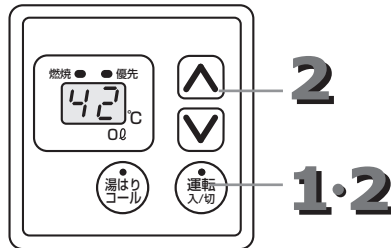
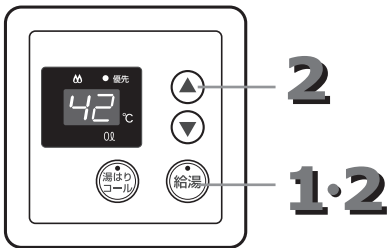
38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
食器洗いなど			シャワーなど						給湯など			

シャワーリモコンが「入」の場合は常にシャワーリモコンが優先になります。

おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、シャワーリモコン優先中は操作部リモコンや給湯リモコンでは温度が変えられないしくみになっています。

操作確認音の消しかた、鳴らしかた 器具名に「SX」がつく機器の場合

スイッチを押したときの‘ピッ’という音は、消したり、鳴らしたりすることができます。
（湯はりコールのお知らせ音は消音にはなりません。）

操作部リモコン【MCS-101】

別売：給湯リモコン【MC-101】

別売：シャワーリモコン【SC-101】

◎操作部リモコン（MCS-101）でご説明します。
給湯リモコン（MC-101）・シャワーリモコン（SC-101）では給湯スイッチが運転スイッチ、給湯ランプが運転ランプになります。

1 **給湯スイッチを押し、給湯ランプの消灯を確認する**

2

を押しながら、

を押す

●操作するたびに「消音」⇔「音が鳴る」と切り替わります。
●操作確認音を消音に設定すると音が消え、音が鳴るように設定すると“ピピッ”と音が鳴ります。

知っておいてね

●操作部リモコン・給湯リモコン・シャワーリモコンそれぞれで設定します。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定（音が鳴る）に戻ります。

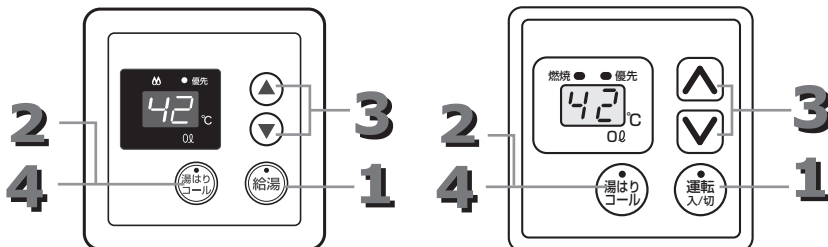
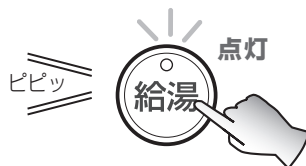
湯はりコールの使いかた 器具名に「SX」がつく機器の場合

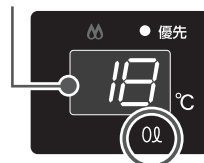
湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量になると“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。おふろのお湯をためるときにご使用になると便利です。

重要

湯はりコールは、お知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

◎操作部リモコン・給湯リモコンそれぞれで設定できます。リモコンの表示やランプは連動して変わりません。
◎操作したリモコンで設定した湯量をお知らせします。
◎操作部リモコン（MCS-101）でご説明します。給湯リモコン（MC-101）では給湯スイッチが運転スイッチ、給湯ランプが運転ランプになります。

操作部リモコン【MCS-101】　別売：給湯リモコン【MC-101】

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

2 湯はりコールスイッチを押す

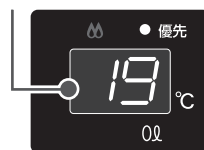
●湯はりコールランプが点灯し、初期設定の180ℓ、または前回使用時に設定した湯量が表示されます。
●「0ℓ」が点灯します。
●湯量の表示は10ℓ単位です。

「0ℓ」点灯

15秒以内

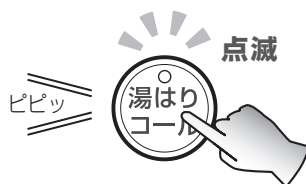
※湯量を変更する場合のみ行ってください。
変更しない場合はそのまま手順 4 へお進みください。

3 湯量を調節する

●10ℓ～500ℓまで10ℓづつ調節できます。押し続けると連続して変わります。
●初期設定は180ℓです。
●設定を記憶しますが、電源プラグを抜くと初期設定に戻ります。

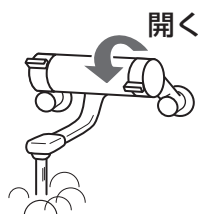
調節後の湯量

【湯はりコールセット完了】

4 湯はりコールスイッチを押す

●湯はりコールランプが点滅し、5秒後に温度表示に戻ります。
●湯はりコールスイッチを押さずにそのまま約15秒経過すると自動的に設定が完了します。

温度表示に戻る

「0ℓ」消灯

5 給湯栓を開ける

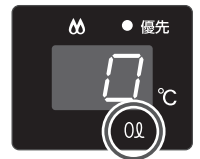
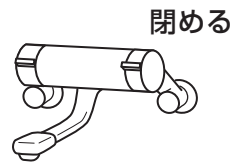
●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。
（22ページ）

燃焼確認ランプ点灯

【湯はりコールでおしらせ】

設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ

●湯はりコールランプが点灯します。
●「0ℓ」が点灯します。
●“ピピピッ”を止めるには湯はりコールスイッチを押してください。

●ブザー終了後は湯はりコールランプが消灯します。
●温度表示に戻ります。

消灯

7 給湯栓を閉める

燃焼確認ランプ消灯

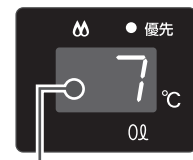
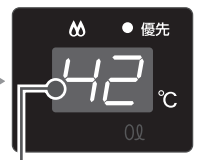
湯はりコールを途中で取り消すとき

\ピッ・ピー/

湯はりコールスイッチを2回連続して押す

湯量調節をする前に湯はりコールのセットが完了してしまった場合は、湯はりコールを取り消し、再度手順 **2** から操作をやり直してください。

残り湯量を知りたいとき

湯はりコールスイッチを押す

知っておいてね

●湯はりコールスイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないときは、自動的に前回使用時に設定した湯量（初めて使用する場合は初期設定の湯量）でセットされます。
●湯はりコールセット完了後、1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
●設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。湯はりコールセット完了後、お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定した湯量より少なくなります。
●混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定した湯量よりも多くなります。

【サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合】

●混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。
（水栓の種類によっては設定した温度と湯量にならない場合があります。）
●混合水栓側の温度設定を中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

⚠警告

給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻す

→やけどのおそれがあります。

お湯の出しかた

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

操作部リモコン【MCS-115V】	別売：給湯リモコン【MC-115V】　別売：ふろリモコン【FC-115V】

◎操作部リモコン（MCS-115V）でご説明します。

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

給湯スイッチの「入」「切」は、操作部リモコンと給湯リモコンでは連動します。シャワーリモコンは連動しません。（表示部のみ連動して点灯します。）

2 給湯栓を開ける

3 給湯栓を閉める

燃焼確認ランプ消灯

⚠警告

必ず行う

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの運転スイッチを押して優先にする

→優先にしないと操作部リモコンや給湯リモコンで温度を変更できるため、やけどのおそれがあります。

※ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

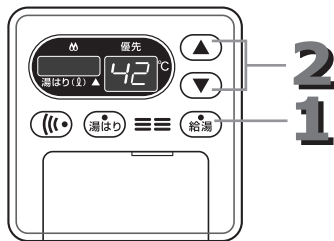
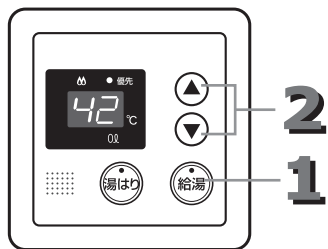
おねがい

リモコンのスイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

知っておいてね

- ●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。（給湯栓の開閉操作を2〜3回くり返してください。）
- ●給湯栓を絞りすぎると消火します。（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
- ●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- ●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によってはほとんどお湯が出ないことがあります。
- ●夏期など水温が高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。
- ●給湯スイッチを「切」にしても表示部が消えない場合は、他に給湯スイッチ「入」のリモコンがあります。すべてのリモコンを「切」にするときは、いずれかのリモコンの給湯スイッチを3秒以上押し続けてください。

給湯温度を調節するには

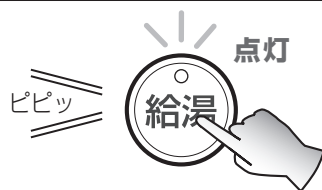
器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

操作部リモコン【MCS-115V】

別売：給湯リモコン【MC-115V】　別売：ふろリモコン【FC-115V】

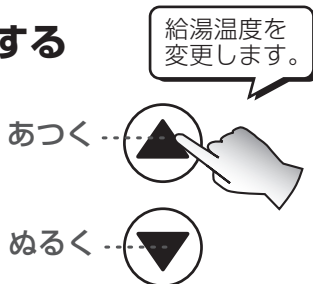
◎操作部リモコン（MCS-115V）でご説明します。

重要

優先ランプが点灯しているリモコンでしか湯温は調節できません。

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

前回の設定温度

2 湯温調節スイッチを押して温度を調節する

- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
- 60℃以上に設定した場合、注意を促すため熱いお湯が出ることを音声でお知らせします。
- 設定を記憶します。

優先ランプ確認

調節後の温度

警告

必ず行う

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの運転スイッチを押して優先にする

→優先にしないと操作部リモコンや給湯リモコンで温度を変更できるため、やけどのおそれがあります。

※ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。

<湯温の目安>

表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管の長さなど）により必ずしも一致しません。表示の温度は目安としてください。

42℃（初期設定）に設定すると音でお知らせ　ピピッ

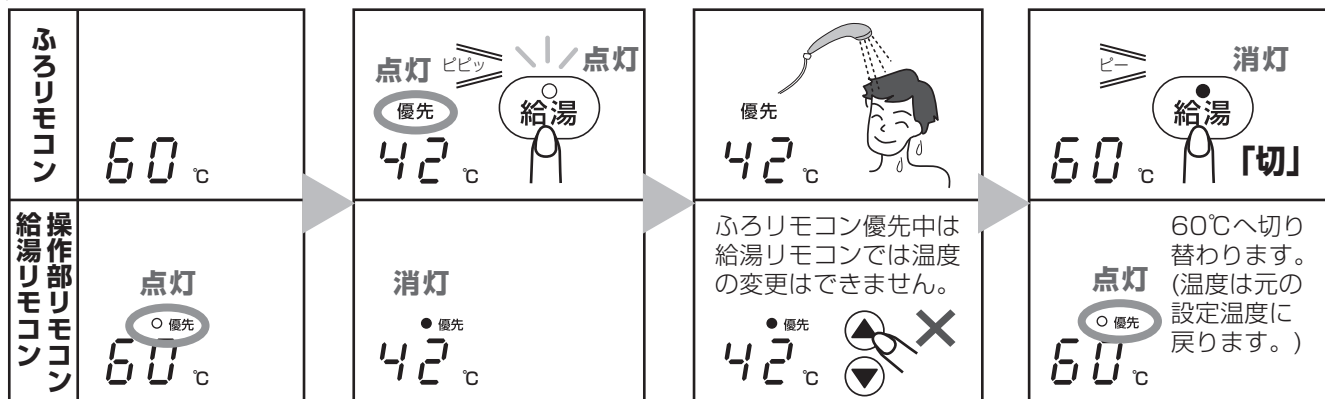
60℃以上に設定すると音声でお知らせ　ピピピッ　あついお湯が出ます。

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
食器洗いなど			シャワーなど						給湯など			

ふろリモコンが「入」の場合は常にふろリモコンが優先になります。

おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、ふろリモコン優先中は操作部リモコンや給湯リモコンでは温度が変えられないしくみになっています。

ふろリモコン優先中は給湯リモコンでは温度の変更はできません。

60℃へ切り替わります。（温度は元の設定温度に戻ります。）

お湯はり中のお湯を自動で停止させる【オートストップ】

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

給湯栓から出たお湯の量が設定湯量になるとお湯を自動で停止させる機能です。おふろのお湯をためるときにご使用になると止め忘れを防止でき、便利です。

リモコンにより設定方法が異なります。

操作部リモコン（MCS-115V）の場合

→27ページ

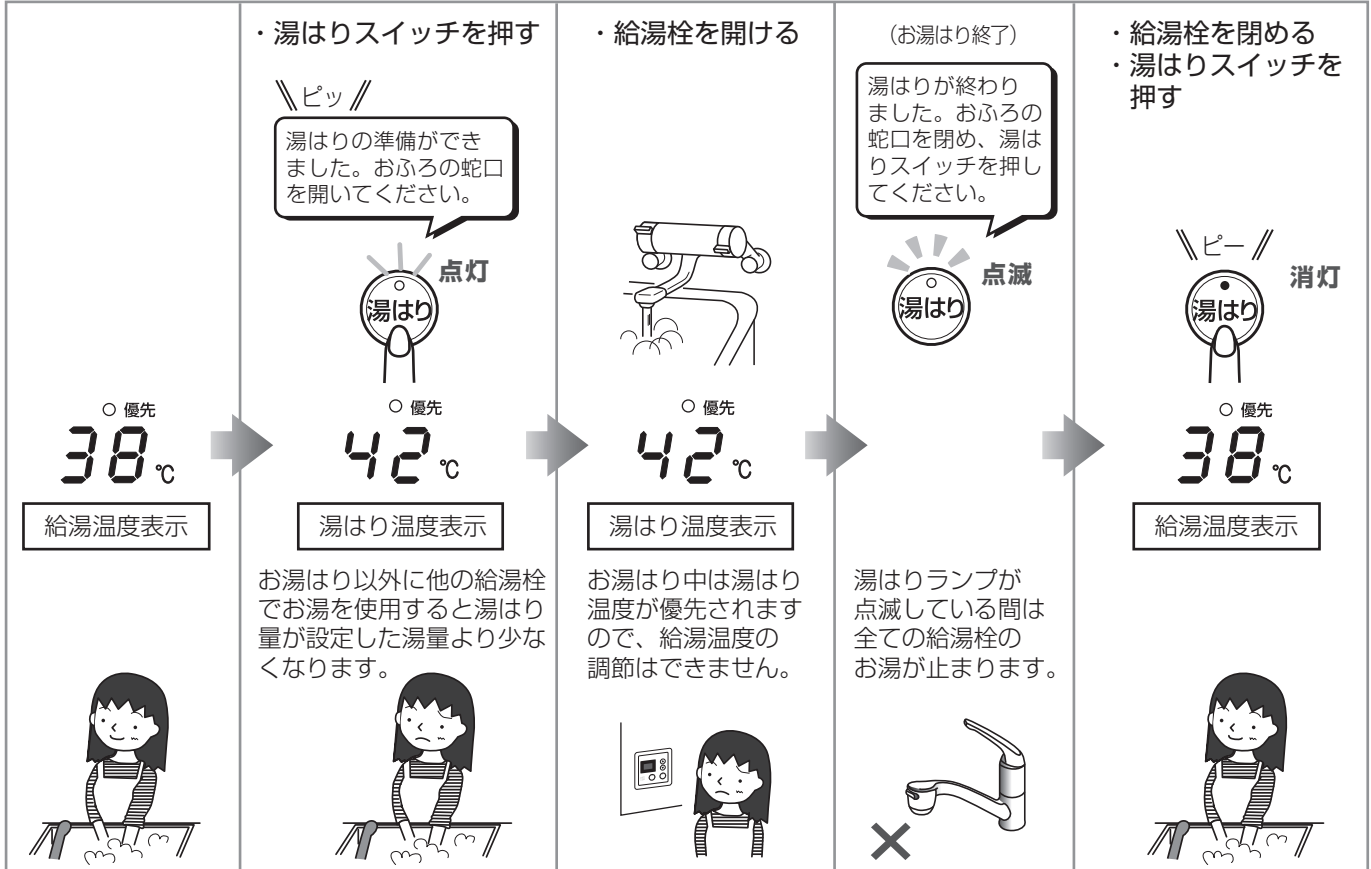
別売：給湯リモコン（MC-115V）の場合
別売：ふろリモコン（FC-115V）の場合

→29ページ

※お湯はりが終了したとき、解除したときは、必ず給湯栓を閉めてください。

⇒給湯栓を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にすると、再度給湯栓からお湯が出ます。

お湯はり中はお湯はりが最優先されます。

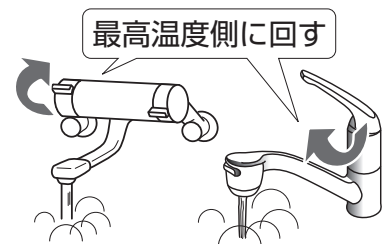
●お湯はり中はお湯はりが最優先されます。（すべてのリモコンの優先ランプが点灯します。）
●お湯はり中に給湯スイッチを押すと、給湯ランプの点灯・消灯はしますが、お湯はりを継続します。
●湯はり温度以外の温度調節はできません。
●お湯はり終了後、湯はりランプが点滅している間はすべての給湯栓のお湯が止まります。

知っておいてね

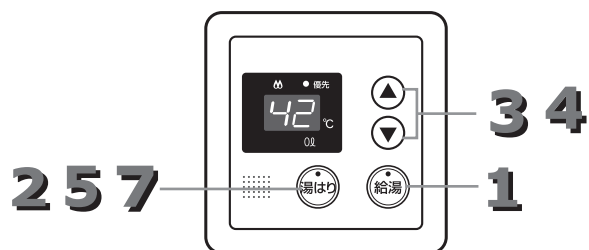
●お湯はり中にすべての給湯栓を閉めた場合、お湯はりは一時中断されますが（湯はりランプは点灯したままです。）再び給湯栓を開くと、お湯はりは継続されます。（中断後6時間以内）
●設定湯量はすべての給湯栓から使用されたお湯の量になります。お湯はり中、お湯はり以外に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定した湯量より少なくなります。
●混合水栓をご使用の場合、混合水栓で混ぜた水の量だけ湯はり量が設定した湯量よりも多くなります。

【サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合】

●混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。
（水栓の種類によっては設定した温度と湯量にならない場合があります。）
●混合水栓側の温度設定を中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

⚠警告

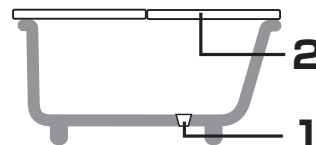
高温注意

給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻す
→やけどのおそれがあります。

お湯はり中のお湯を自動で停止させる【オートストップ】

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

操作部リモコン（MCS-115V）

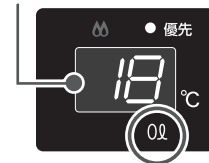
◎給湯スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。
ここでは「入」時でご説明します。

準備

1．浴槽の排水栓を閉める
2．浴槽のふたをする
※お湯が入る部分は開けておく

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

2 湯はりスイッチを押す

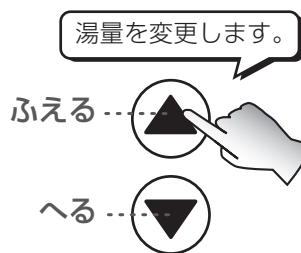
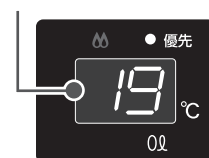
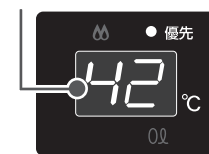
●湯はりランプが点滅します。

前回の設定湯量

「0ℓ」点灯

5秒以内

3 湯はり量を調節する

※湯量を変更する場合のみ行ってください。
変更しない場合はそのまま手順 **4** へお進みください。

●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、押し続けると連続して変わります。
さらに990ℓに調節ができます。
●初期設定は180ℓです。
●設定を記憶します。

調節後の湯量

5秒後

湯はりランプが点灯し、温度表示になります。

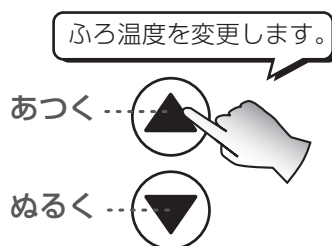
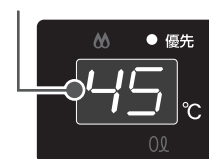
※湯量調節をする前に湯はりランプが点灯になってしまった場合は、お湯はりを取り消し、再度設定をやり直してください。

前回の設定温度

「0ℓ」消灯

4 湯はり温度を調節する

※湯温を変更する場合のみ行ってください。
変更しない場合はそのまま手順 **5** へお進みください。

●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。
38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
●設定を記憶します。

●湯はり温度調節後、15秒経過すると自動的に湯はり準備が確定し、手順 **5** の音声ガイドでお知らせします。

調節後の温度

5 湯はりスイッチを押してから、給湯栓を開く

●給湯栓を開けることで湯はりが開始します。
●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。（26ページ）

湯はりの準備ができました。
おふろの蛇口を開いてください。

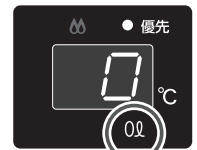
燃焼確認ランプ点灯

【湯はり終了】

湯はりが終了するとお知らせし、お湯を自動で止めます。

●湯はりランプが点滅します。

湯はりが終わりました。
おふろの蛇口を閉め、湯はりスイッチを押してください。

燃焼確認ランプ消灯

「OL」点灯

6 給湯栓を閉める

●必ず給湯栓を閉めてください。

7 湯はりスイッチを押す

●湯はりランプが消灯します。

●給湯栓を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にすると、閉め忘れた給湯栓から再度浴槽に給湯されます。
●音声でお知らせします。

<給湯栓を閉め忘れると…>

蛇口が開いていませんか？
おふろの蛇口を確認してください。

お湯はりを途中で取り消すとき

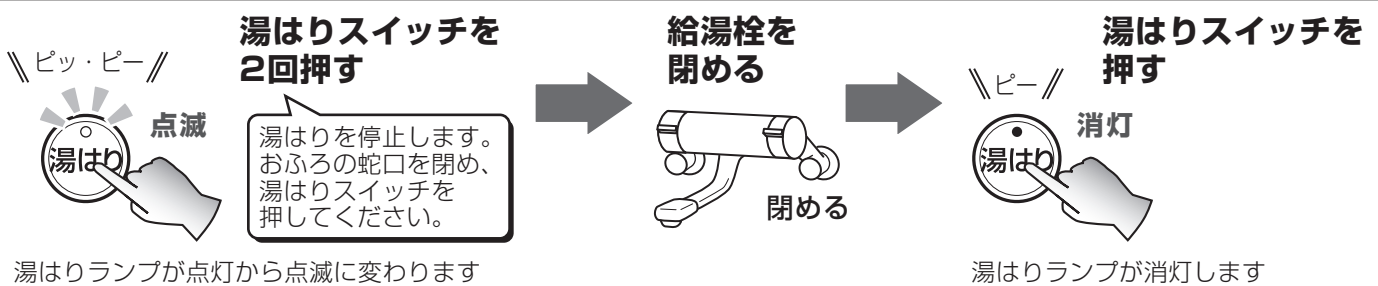
湯はりスイッチを2回押す

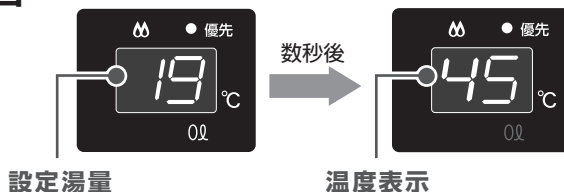
湯はりを停止します。
おふろの蛇口を閉め、
湯はりスイッチを
押してください。

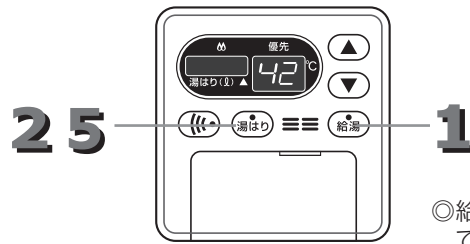
湯はりランプが点灯から点滅に変わります

給湯栓を閉める

湯はりスイッチを押す

湯はりランプが消灯します

お湯はりの途中で設定湯量を知りたいとき

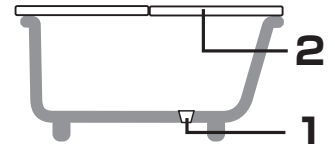
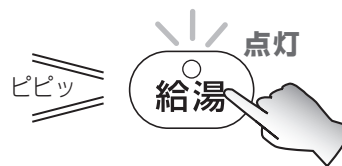
湯はりスイッチを1回押す

●温度表示に戻る前に湯量調節スイッチを押すと湯はり量を変更することができます。
※湯はり量を減らした場合、すでに変更した湯はり量に湯はりされているときは、お湯が止まります。

お湯はり中のお湯を自動で停止させる【オートストップ】

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

別売：給湯リモコン【MC-115V】　　別売：ふろリモコン【FC-115V】

◎給湯スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは「入」時でご説明します。

準備

1. 浴槽の排水栓を閉める
2. 浴槽のふたをする
　※お湯が入る部分は開けておく

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの点灯を確認する

2 湯はりスイッチを押す

●湯はりランプが点灯します。

湯はりの準備ができました。おふろの蛇口を開いてください。

3 給湯栓を開ける

●給湯栓を開けることで湯はりが開始します。
●サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓をご使用の場合は、混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしてください。（26ページ）

【湯はり終了】

湯はりが終了するとお知らせし、お湯を自動で止めます。

●湯はりランプが点滅します。

湯はりが終わりました。おふろの蛇口を閉め、湯はりスイッチを押してください。

燃焼確認ランプ消灯

4 給湯栓を閉める

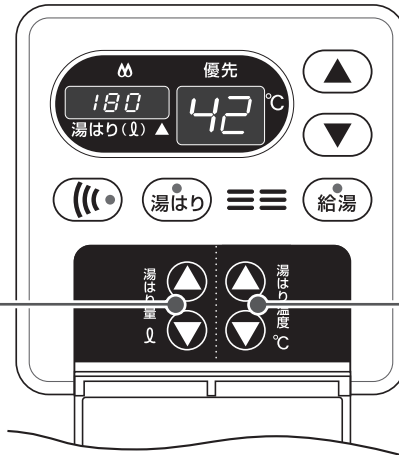
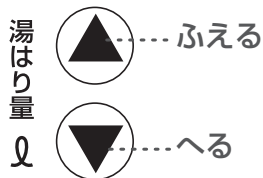
●必ず給湯栓を閉めてください。

5 湯はりスイッチを押す

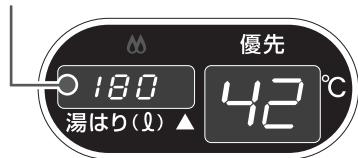
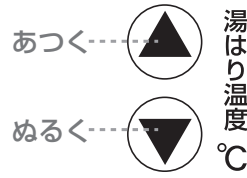
●湯はりランプが消灯します。

●給湯栓を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にすると、閉め忘れた給湯栓から再度浴槽に給湯されます。
●音声でお知らせします。

<給湯栓を閉め忘れると…>

蛇口が開いていませんか？おふろの蛇口を確認してください。

湯はり量を調節するには

◎給湯スイッチの「入」「切」に
関係なく設定することができます。

●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ押し続けると連続して変わります。さらに990ℓに調節ができます。
●初期設定は180ℓです。
●設定完了5秒後に消灯します。
●設定を記憶します。

前回の設定湯量

湯はり温度を調節するには

◎給湯スイッチの「入」「切」に
関係なく設定することができます。

●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
●設定完了5秒後に消灯します。
●設定を記憶します。

前回の設定温度

お湯はりを途中で取り消すとき

点滅

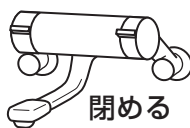
湯はりスイッチを押す

湯はりを停止します。
おふろの蛇口を閉め、
湯はりスイッチを
押してください。

閉める

給湯栓を閉める

消灯

ピー

湯はりスイッチを押す

湯はりランプが点灯から点滅に変わります

湯はりランプが消灯します

操作確認音の音量調節のしかた

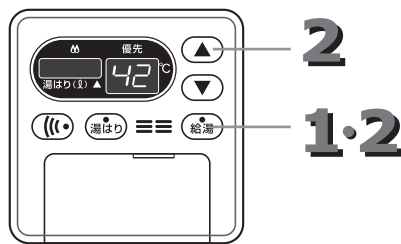
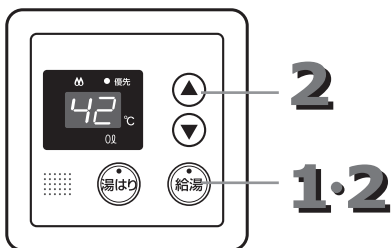
器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

音声ガイド・操作確認音・呼び出しメロディの音量を調節できます。

操作部リモコン【MCS-115V】	別売：給湯リモコン【MC-115V】	別売：ふろリモコン【FC-115V】

◎操作部リモコン（MCS-115V）でご説明します。

1 給湯スイッチを押し、給湯ランプの消灯を確認する

2

を押しながら、

を押す

●操作するたびに下記の順に切り替わります。⑦の次は①に戻ります。
(初期設定は、音声ガイド「中」・操作確認音「中」・呼び出しメロディ音「中」です。)

順	音声ガイド音	操作確認音	呼び出し メロディ音	お知らせの しかた
①	オフ	大	大	B
②	小	小	小	A
③	オフ	小	小	B
④	オフ	オフ	小	C
⑤	大	大	大	A
⑥	オフ	大	大	B
⑦	中	中	中	A

A ＼ピー・ピー／ 音量を変更します。

B ＼ピー・ピー／

C （お知らせなし）

知っておいてね

●操作部リモコン・給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定します。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。
●呼び出しメロディは「切」にはなりません。

呼び出すには

器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合

別売：給湯リモコン（MC-115V）	別売：ふろリモコン（FC-115V）

リモコンの呼び出しメロディを鳴らして人を呼ぶことができます。

◎給湯スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。

呼び出しスイッチを押す

すべてのリモコンで呼び出しメロディが流れます。

点検とお手入れ

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
なお、電源プラグを抜くと音声ガイドの音量設定・操作確認音/お知らせメロディの音量設定、湯はりコールの湯量が初期設定に戻ります。再度設定してください。
●お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

■定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、2年に1回程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。
お買い上げの販売店かパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。（有料）

点検のポイント（ご使用のたびに）

1.給排気口（給排気筒トップ）が異物やほこりでふさがれていませんか?

異物・ほこり・積雪・屋根から落ちた雪などにより給排気口（給排気筒トップ）がふさがれると不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
積雪時には給排気口（給排気筒トップ）の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給排気口（給排気筒トップ）をふさぐおそれのある場合はもよりの施工業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

2.機器や給排気口（給排気筒トップ）のまわりに燃えやすいものはありませんか?

3.運転中に異常音は聞こえませんか？

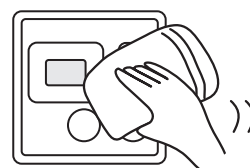
4.機器や配管からガス漏れ・水漏れはありませんか?

5.外観に変色などの異常はありませんか?

6.電源プラグにほこりがたまっていませんか？

お手入れのしかた（月に1回程度）

機器本体・操作部・リモコン

水気をかたく絞ったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る

おねがい

●浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、浴槽、洗面台が青く変色することがあります。
●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。
印刷・塗装面には、みがき粉・たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷つけます。
●機器外装のお手入れの際、銘板をはがさないでください。
●シャワー（ふろ）リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。給湯リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にも当たらないように注意してください。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

点検とお手入れ

お手入れのしかた（月に１回程度）

水抜き栓フィルター

●お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●水抜き栓を外すときは、水が飛び出ることがありますので、ゆっくりはずしてください。

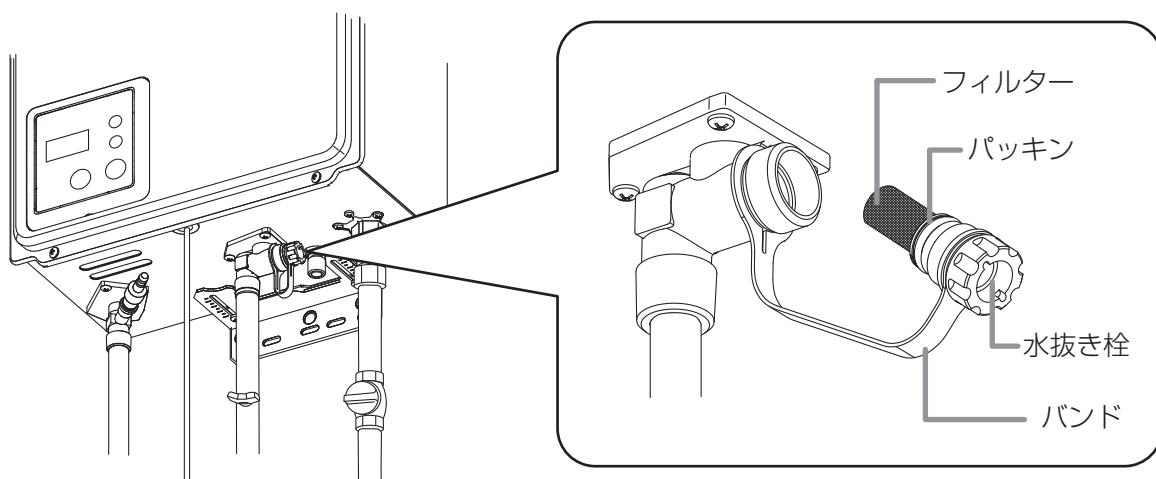
1.給水元栓を閉める

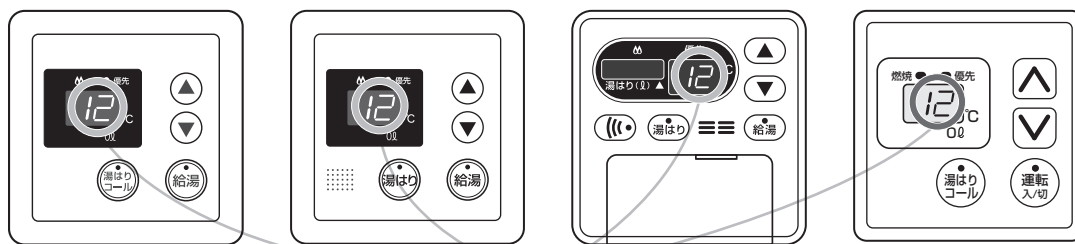
2.すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける

3.水抜き栓を外し、フィルター部分のゴミを取り除く

4.元どおりに水抜き栓を取り付ける

5.すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める

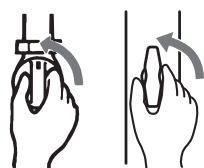
6.給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。
（表示部に設定している温度や湯量とは違う数字が表示されます。）
給湯栓を閉める前に表示されたエラーコードを書きとめてください。

エラーコード表示（例）

エラーコードが表示されたら

1,下記の操作を行ってください。

①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。

②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。

③リモコンの給湯（運転）スイッチを押し、運転を「切」にしてください。1分ほど待ってから再び給湯（運転）スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

④給湯栓を再び開けてください。

2.それでもなおエラーコードが表示される場合、

●下記および次のページの一覧以外のエラーコードが表示される場合は、3へ

●下記および次のページのエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉めリモコンの給湯（運転）スイッチを押し、運転を「切」にする。
一覧の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は、3へ

3.給湯栓を閉め、リモコンの給湯（運転）スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、表示されたエラーコードをお知らせください。

エラーコード「88」が表示された場合 （設定温度と交互に表示されます。）

ご使用機器の点検実施時期です。パロマ（42ページ参照）までご連絡ください。
点検に関するご案内をさせていただきます。

燃焼監視機能付機器の場合（器具名に「QLX」がつく機器のみ）

正常な燃焼が保てなくなると、自動的にガスを止め燃焼を停止します。

また、燃焼ランプと運転ランプが同時点滅しているときは、燃焼不良となるような状態が起きはじめています。給湯栓を閉め、すみやかに次のページのエラーコード「05」の処置をしてください。

故障かな？と思ったら

エラーコード	原　因	処　置
11	ガスメーター（マイコンメーター）が ガスを遮断している。	お近くのガス事業者へご連絡ください。
11 12	ガス栓の開きが不十分。	ガス栓を全開にしてください。
	LPガスがなくなりかけている。 （LPガス使用の場合）	ボンベの交換をお近くのガス事業者に依頼 してください。
15 16	給湯栓を絞りすぎている。	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やして ください。
	水抜き後の再使用時の順番が違っている。	39ページ「水抜き後の使いかた」参照 してください。
05 または 10 燃焼開始時に 「ピッ・ピッ・ピッ」 とブザーが鳴ります。	機器の給排気口（給排気筒トップ）を ふさいでいる。	機器の給排気口（給排気筒トップ）を ふさいでいるものを取り除いてください。
13 または 99	修理が必要ですのでお買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。	

エラーコードが表示されていない場合

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときや、ご不明な点はお買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

■『温度』について

現　象	原　因　と　処　置
給湯栓を開けても お湯が出ない	●給水元栓・ガス栓が十分開いていない。（17ページ） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。 ●LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている。 ●給湯栓を絞りすぎている。（通水量が少なくなると消火します。） ●凍結している。（39ページ） ●給湯（運転）スイッチが「入」になっていない。 ●断続的に給湯栓を開けている。 ●機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出るまでに時間がかかることがあります。 ●停電や断水している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。 ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている。（33ページ）
途中で水になる 使用中に消火した	●給水元栓・ガス栓が十分開いていない。（17ページ） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。 ●LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている。 ●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。 ●給湯栓を絞りすぎている。（通水量が少なくなると消火します。）

エラーコードが表示されていない場合

■『温度』について

現　象	原　因　と　処　置
低温のお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない。（17ページ） ●湯温調節が適切でない。（19・24ページ） ●少量のお湯を使用しようとすると、お湯の温度が高くなります。 （給湯栓をもっと開けてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。） ●夏期など水温が高い場合に、低温のお湯を使用しようとするとお湯の温度がリモコンの設定温度より高くなります。（18・23ページ） ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切ではない。（19・24ページ） ●ガス栓が十分開いていない。（17ページ） ●給湯栓が全開になっている。 ●冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとするとリモコンの設定温度のお湯が出ないことがあります。 （給湯栓を絞りお湯の量を少なくすれば、お湯の温度は安定します。） ●混合水栓をご使用の場合は、水が回り込み、お湯がぬるくなる場合があります。サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため、ぬるくなる場合があります。 ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。
給湯温度の調節ができない	●操作しているリモコンが優先になっていない。（20・24ページ）
家中のお湯が出ない	●「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯が止まります。給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してオートストップを解除してください。 （器具名に「LX」「QLX」がつく機器の場合）

■『湯はり』『湯量』について

現　象	原　因　と　処　置
お湯はりの量が設定した湯量にならない	●湯量設定が適切ではない。 浴槽にお湯が残った状態でお湯はりするとその分だけ水位が高くなります。 ●浴槽の排水栓をしっかり閉めていない。 ●お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。 ●混合水栓をご使用の場合は、水が混ざるため、その分だけ浴槽のお湯が多くなり、湯温はぬるくなります。 （水栓の種類によっては、水側が完全に止水できない場合があります。）
給湯栓から出るお湯の量が変化する	●お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ●給湯栓の種類によっては始め多く出て、その後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。

故障かな？と思ったら

エラーコードが表示されていない場合

■『リモコン』について

現　　象	原　因　と　処　置
スイッチが点灯しない	●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。

■その他

現　　象	原　因　と　処　置
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。（機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホースなどで支障のないところへ排水してください。なお、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
給排気口（給排気筒トップ）から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。 ●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがありますが故障ではありません。

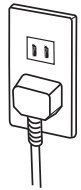
凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を予防するため、次のような処置をおとりください。

＊暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。
＊停電時は凍結予防ヒータが働きませんので「水抜きによる方法」（39ページ参照）で凍結による破損防止の処置を行ってください。

対策① 通常の寒さの場合　≪凍結予防ヒータによる方法≫

電源プラグを抜かないでください。

外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。
※リモコンが「切」の状態でも働きます。

対策② 冷え込みが厳しい場合※　≪通水による（蛇口から水を流す）方法≫

※－15℃以下または、－15℃より気温は高くても風がある場合

給湯栓から水を流してください。

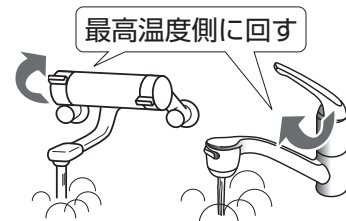
1.リモコンの運転スイッチを「切」にする

2.給湯栓より少量の水（太さ約4mm）を流したままにしておく

3.流量が不安定になることがあるので、約30分後にもう一度確認する

おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

●サーモスタット式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、温度設定をもっとも高温にして開けてください。

●再使用時の温度設定にはご注意ください。

知っておいてね

●「対策①」は機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口・湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
●「対策②」は機器本体だけでなく、給水、給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

凍結を防ぐには

長期間使用しない場合　≪水抜きによる方法≫

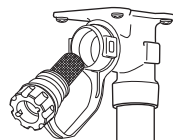
※機器の水抜きをする場合、運転を「切」にし、機器が冷えてから行ってください。

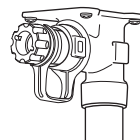
水抜き栓を外すときの注意

■2か所（または3か所）すべての水抜き栓を外す

■完全に抜けるまで外す

※機器の水抜きをする場合、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
※水抜き栓を外すときは、水が飛び出すおそれがありますのでゆっくり外してください。

良い例

完全に抜けるまで外す

悪い例

少しゆるめただけ

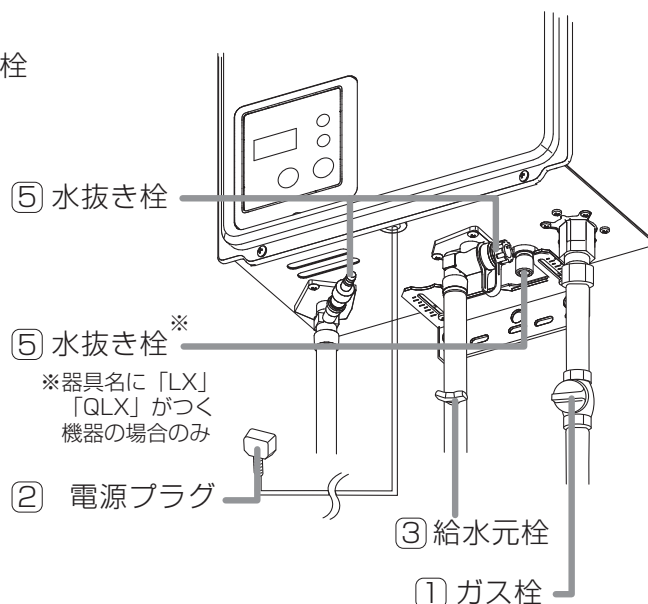
① ガス栓 1 を閉めます。

② 電源プラグ 2 を抜きます。

③ 給水元栓 3 を閉めます。
（不凍栓使用時は、給水元栓を全開にします。）

④ 全ての給湯栓 4 を開けます。

※サーモスタット付きやシングルレバー式の混合水栓の場合、混合水栓側の温度設定を最高温度側にしてください。
（再使用時には温度設定にはご注意ください。）

⑤ 水抜き栓 5 を外します。
（器具名に「SX」が付く機器は2か所、「LX」「QLX」がつく機器は3か所）

再使用するまでこのままにしておきます。

※手順通り行わないと、機器が凍結し、破損事故の原因になります。

⚠警告

■ぬれた手で電源プラグを触らない
→感電のおそれがあります。

水抜き後再使用するとき

①水抜き栓 5 を取り付けます。
②給水元栓 3 を開け、給湯栓 4 から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。水が出ない場合は、配管が凍結している可能性があります。電源プラグ 2 を差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
③17ページの「準備と確認」から始めます。

※再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　名			PH-16QLXTSUL	PH-20QLXTSUL	PH-16SXTU PH-16LXTU PH-16LXTB	PH-20SXTU PH-20LXTU PH-20LXTB
種類	設置方式		屋内壁掛型			
	給湯方式		先止め式			
	給排気方式		強制給排気式			
点火方式			連続スパーク点火			
電気関係	電源		AC100V(50Hz/60Hz)			
	消費電力(50Hz/60Hz)	待機時	3.0W			
		凍結予防ヒーター	68W			
水圧	使用水圧		80kPa～1000kPa（推奨水圧100kPa～500kPa）			
	最低作動水圧		10kPa			
最低作動水量			2.5L／分			
外形寸法mm(高さ×幅×奥行)			585×350×185mm			
質量（本体）			17kg（満水時の質量18kg）			
接続	給水・給湯		R1/2(15A)			
	ガス		R1/2(15A)			
電源コードの長さ			1.5m			
安心・安全機能			立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置 残火安全装置・過圧防止安全装置・空だき防止装置 凍結予防装置・電流ヒューズ・ファン回転検出装置 燃焼監視機能		立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置 残火安全装置・過圧防止安全装置・空だき防止装置 凍結予防装置・電流ヒューズ・ファン回転検出装置	

＊最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ/分			消費電力(50Hz/60Hz)
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	Q-3-2	PH-16SXTU	32.6	(14.9)	9.3	6.7	46W
			PH-16LXTU					
			PH-16QLXTSUL					
		Q-3-3	PH-16LXTB					39W
	13A	Q-3-2	PH-16SXTU	34.9	(16.0)	10.0	7.2	46W
			PH-16LXTU					
			PH-16QLXTSUL					
		Q-3-3	PH-16LXTB					39W
LPガス用		Q-3-1	PH-16SXTU	34.9	(16.0)	10.0	7.2	42W
			PH-16LXTU					
			PH-16QLXTSUL					
		Q-3-3	PH-16LXTB					39W

仕　様

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">使用ガス
(ガスグループ)</th><th rowspan="2">型式名</th><th rowspan="2">器具名</th><th rowspan="2">ガス消費量
kW</th><th colspan="3">出湯量(最大)ℓ/分</th><th rowspan="2">消費電力
(50Hz/60Hz)</th></tr>
<tr><th>25℃上昇</th><th>40℃上昇</th><th>55℃上昇</th></tr>
<tr><td rowspan="8">都市ガス用</td><td rowspan="4">12A</td><td rowspan="3">Q-4-2</td><td>PH-20SXTU</td><td rowspan="4">39.7</td><td rowspan="4">(18.6)</td><td rowspan="4">11.6</td><td rowspan="4">8.5</td><td rowspan="3">58W</td></tr>
<tr><td>PH-20LXTU</td></tr>
<tr><td>PH-20QLXTSUL</td></tr>
<tr><td>Q-4-3</td><td>PH-20LXTB</td><td>47W</td></tr>
<tr><td rowspan="4">13A</td><td rowspan="3">Q-4-2</td><td>PH-20SXTU</td><td rowspan="4">42.5</td><td rowspan="4">(20.0)</td><td rowspan="4">12.5</td><td rowspan="4">9.1</td><td rowspan="3">58W</td></tr>
<tr><td>PH-20LXTU</td></tr>
<tr><td>PH-20QLXTSUL</td></tr>
<tr><td>Q-4-3</td><td>PH-20LXTB</td><td>47W</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">LPガス用</td><td rowspan="3">Q-4-1</td><td>PH-20SXTU</td><td rowspan="4">42.5</td><td rowspan="4">(20.0)</td><td rowspan="4">12.5</td><td rowspan="4">9.1</td><td rowspan="3">52W</td></tr>
<tr><td>PH-20LXTU</td></tr>
<tr><td>PH-20QLXTSUL</td></tr>
<tr><td>Q-4-3</td><td>PH-20LXTB</td><td>47W</td></tr>
</table>

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」39ページ参照)

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

※作業に危険を伴う場所に取り付けられた場合、アフターサービスをお断りする場合がありますのでご了承ください。

① 品名・器具名(銘板表示のもの)
② 現象(できるだけ詳しく)
③ ご購入日・ガス種
④ ご住所・お名前・電話番号・道順
⑤ ご訪問希望日

修理についての お問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についての お問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30〜18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】受付時間：平日　9：00〜18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1−1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20−10	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3−11−9太平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6−23	052-824-5050	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8−12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は本製品製造打ち切り後7年間（BL認定部品は10年間）保有しております。

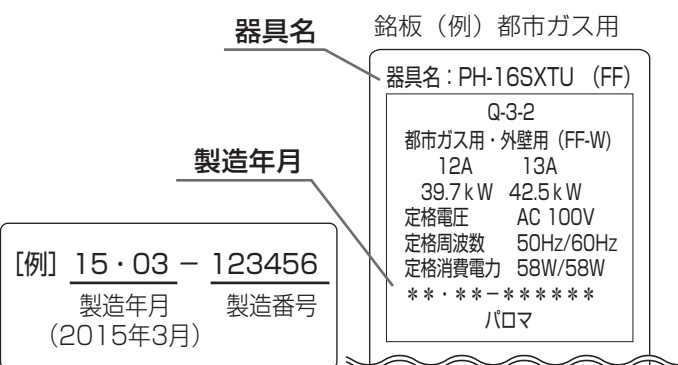
■BL認定部品について

優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

■製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

■お客さまの個人情報の取り扱いについて

- ●当社はお客さまよりお知らせいただいた、お客さまのお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- ●当社はお客さまの個人情報を、下記の場合を除いて第三者へ開示・提供いたしません。
  - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
  - ・法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合
  - ・その他の正当な理由がある場合
- ●当社はお客さまの個人情報を適切に管理します。

保 証 書

パロマ　ガス給湯器

PH-16SXTU・PH-20SXTU・PH-16LXTU・PH-20LXTU・PH-16LXTB・PH-20LXTB
PH-16QLXTSUL・PH-20QLXTSUL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店か パロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
（ホ） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
（チ）建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
（リ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
（ヌ）給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
（ル）温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　　　　　　　様
	ご住所　〒
	お電話
販売店	店名
	住所
	電話番号

お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ日から1年間

BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

41171440001

27. 3. ① OG 41 17144